

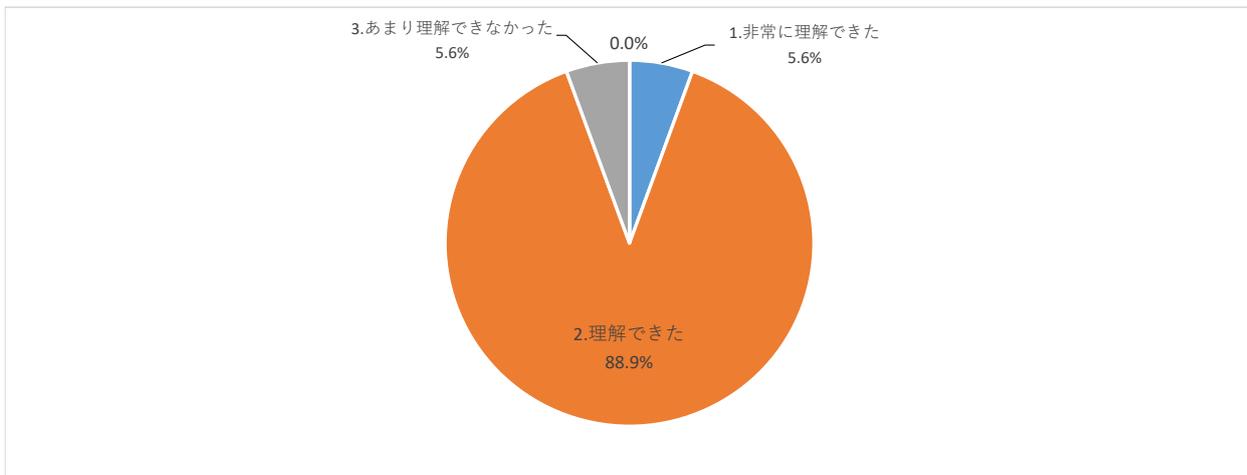
■市民協働研修(管理職、中堅職員)アンケート

【資料1-2】

《調査概要》	回答期間: 令和4年1月25日～令和4年2月4日 回答方法: e-KANAGAWAにて回答 回答対象: 市民協働研修(管理職、中堅職員)の受講者 対象者数: 19人 回答者数: 18人 回答率: 95% ※問5 自由記述のみ。	n = 18
--------	---	--------

【問1】 今回の研修を受けて、協働について理解が深まりましたか。その理由をお書きください。

1.非常に理解できた	1	5.6%
2.理解できた	16	88.9%
3.あまり理解できなかった	1	5.6%
4.理解できなかった	0	0.0%



非常に理解できた

- ・歴史とともに解説をいただき、移り変わりとともに必要性が出てきたことがわかったため。

理解できた

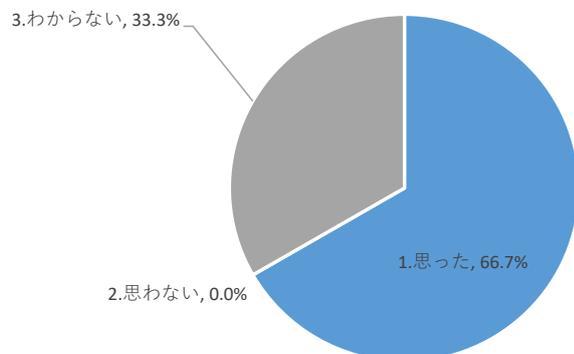
- ・講師の実体験に基づいたお話を多く聞くことができ、わかりやすかった
- ・協働の枠には委託や指定管理なども含まれること、協働の歴史などが知れてよかった。
- ・さまざまな協働の事例が聞けたため。
- ・今まで、何となくでしか理解していなかったことを分かりやすく説明してもらったため。
- ・先生の講義がわかりやすかった。
- ・協働の変遷とメリット・デメリットについて理解できました。
- ・今まで、何となくでしか理解していなかったことを分かりやすく説明してもらったため。
- ・まちづくりには協働が大切だと感じた
- ・各種資料、他市の事例や講義が非常に分かりやすかったからです。
- ・市民協働の意識付けができた
- ・講師の方の実際の経験談が、おもしろくわかりやすかった。
- ・講師のお話しがわかりやすかった。
- ・講義がわかりやすかったため。
- ・協働という言葉がどうやって生まれたか、また他市の状況はどのようになっているか等わかりやすく丁寧に説明を受けたため
- ・市民協働に取り組むということは、行政側にも覚悟が必要であるということがわかったから。
- ・行政と市民との関係性の歴史を知り、「協働」という流れを自然な流れとして理解できた。

あまり理解できなかった

- ・既に知っている話が多く、新たな気づきが乏しかった。

【問2】 今回の研修を受けて市の事業実施の手段として協働が効果的だと思いましたか。その理由をお書きください。

1.思った	12	66.7%
2.思わない	0	0.0%
3.わからない	6	33.3%



思った

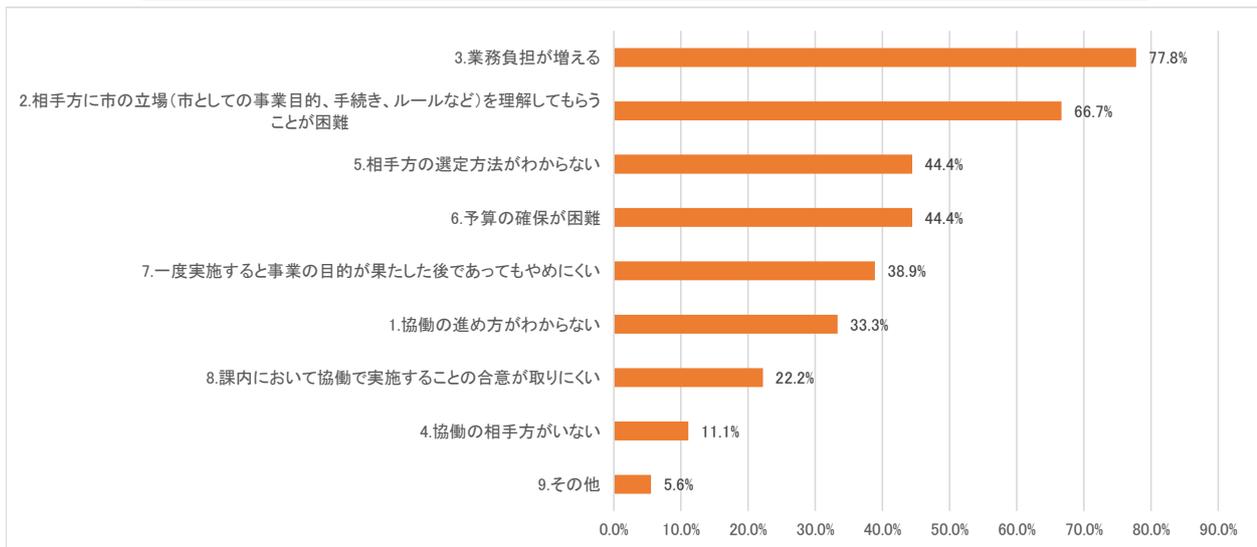
- ・市民を巻き込むことで、参画意識を高め、市の独りよがり施策を防止するとともに、相互理解の促進やコスト削減も期待できるため。
- ・メリットが整理できた
- ・市だけではできないアイデア等がでてくるため。
- ・市民のニーズが増え、職員が減っていく中で必要な取組だと改めて感じました。
- ・メリットが多いため。
- ・市民と行政の意見がうまくまとまれば、まちづくりに非常に効果的だと思うから。
- ・市民生活の多様化と需要に対して協働で時代に沿った革新的なアイデアが生み出され快適な「まち」へ発展する可能性があるからです。
- ・講師の話の中で、公園の例が分かり易かった。
- ・弊害もあることがわかったが、事業によっては有効だと思った。
- ・市職員だけでは人手が足りない、新しい視点のアイデアが出てこないなど、外部の力が必要と感ずるため。
- ・事前に市民と事業を勧められるため、市民の意見を反映しやすい。また、その後の苦情等も減少させる。
- ・行政だけでは対応が難しいサービスの実施や市民にとってより満足度の高いサービスの提供がしやすくなる

わからない

- ・メリットとデメリットをよく見極める必要があると思う。
- ・あまり深まった話がなかったから。
- ・具体的にどのような事業が協働に適しているかまではわかりませんでした。
- ・わかりません。
- ・メリット・デメリットどちらも存在しているため、今の状況での判断が難しいため。
- ・研修の中でもあったが、メリットもあるが、デメリットもあることで、それなりの受け止める体制が必要だから。

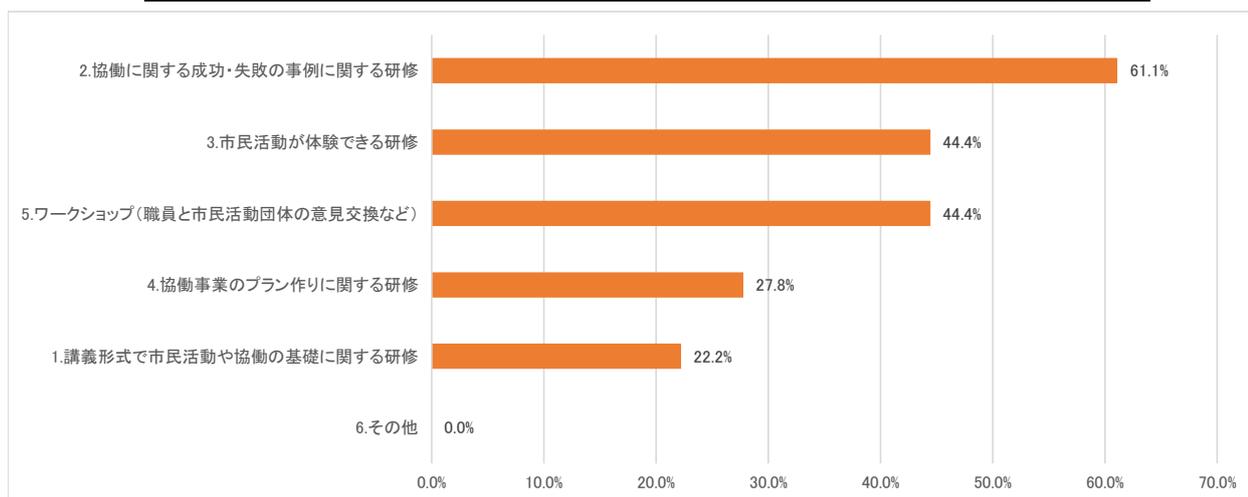
【問3】協働を実施するにあたり課題になることは何ですか。(複数回答)

1.協働の進め方がわからない	6	33.3%
2.相手方に市の立場(市としての事業目的、手続き、ルールなど)を理解してもらうことが困難	12	66.7%
3.業務負担が増える	14	77.8%
4.協働の相手方がいない	2	11.1%
5.相手方の選定方法がわからない	8	44.4%
6.予算の確保が困難	8	44.4%
7.一度実施すると事業の目的が果たした後であってもやめにくい	7	38.9%
8.課内において協働で実施することの合意が取りにくい	4	22.2%
9.その他	1	5.6%



【問4】 今後、どのような研修があれば協働の推進に役立つと思いますか。受けてみたい研修内容を選択してください。

1.講義形式で市民活動や協働の基礎に関する研修	4	22.2%
2.協働に関する成功・失敗の事例に関する研修	11	61.1%
3.市民活動が体験できる研修	8	44.4%
4.協働事業のプラン作りに関する研修	5	27.8%
5.ワークショップ(職員と市民活動団体の意見交換など)	8	44.4%
6.その他	0	0.0%



【問5】 市民活動や協働の推進にかかる施策についてご提案やご意見等がございましたら、ご記入ください

自由記述

<p>難しいかとは思いますが、できる限り若い世代も取り込めるような協働事業の展開(学校との連携等)を行えるとよいかと思えます。</p>
<p>多くの市民が協働についての理解と興味を示すような鎌倉らしいオリジナルの施策と気軽に参加できるような機会を提供するべきだと思います。</p>
<p>市民協働を積極的に取り組む部署と意見交換等を行うことで、現在の業務に生かすための具体例がわかるのではないかと思います。</p>
<p>保育士ですが、コロナの影響で子育て環境が変化し孤独を感じている子育て世代の人が増えてきているのではと感じる一方、その分をネットを通じて補っているのかとも思いますが。そのあたりのところのニーズの掘り起こしと継続可能なサービスを課をこえて考えたりできれば”子育てしやすい鎌倉”としてより住みやすいまちづくりができると思えました。</p>